

VisualSRM 入門 – Self Study

コース概要



e-Learning

このコースは、VisualSRM の入門コースです。製品の位置づけ、ライセンス、アーキテクチャ、必要なハードウェア、使用方法、機能について学習します。注:このコースは、

StorageScope File Level Reporter (STS FLR)について同様の知識とスキルを習得したい方にも適しています。

コース番号:	MR-9WP-VSRM1-JPN		
コースタイプ:	自習教材	コース期間:	2時間

受講対象者

このコースは次の方を対象としています。

- VisualSRM の概要を知りたい方
- EMC Proven Professional プログラム・ストレージ管理者トラックのスペシャリスト・レベルのカリキュラムを受講している方
- クラスルーム・トレーニング「VisualSRM Installation, Configuration and Usage」に参加予定の方

受講前提条件

受講前提条件はクラスに参加する前に修了しておく必要があります。受講前提条件となるコースは、次のとおりです。

- なし

目的

このコースを受講すると、下記の内容を学ぶことができます。

- 拡大する IT 部門が抱える最大の問題とその解決に役立つ VisualSRM の機能の特定
- VisualSRM のアーキテクチャ・コンポーネント、インストールに必要なハードウェア、ソフトウェアのパッケージとライセンスの説明
- 「Getting Started Wizard」などのウィザードを使用した VisualSRM の初期構成の理解
- VisualSRM へのリソース(システム、データベース、メール・サーバ)の追加方法とリソース・スキャン・ポリシーの理解
- VisualSRM のダッシュボード、イベント・アラート、インテリジェント・アクション、タスク・リスト、閾値の使用方法的説明
- VisualSRM のレポート作成機能の説明

モジュールの内容

各モジュールは、コースの目的に対応するように設計されています。このコースでは、次のトピックを取り上げています。

- VisualSRM と IT のニーズ
- VisualSRM: アーキテクチャと必要条件
- VisualSRM: 使用方法と機能
 - 構成(ウィザード)
 - ダッシュボードとスナップショット
 - リソースとリソース・スキャン
 - イベント・アラート、インテリジェント・アクション、タスク・リスト、閾値
 - VisualSRM によるレポート作成

実習

実習では、学習した内容を確認します。このコースには、次の実習が含まれています。

- このコースには実習はありません。

VisualSRM 入門 – Self Study

コース概要



e-Learning

実力テスト

実力テストでは、学習した知識やスキルを確認します。このコースには、次のテストが含まれています。

- 確認テスト